

# 平成 26 年度 基礎評価シート

		担当部課等名	子ども育成課					
基本構想	生活の質の向上と定住人口の確保		重点的方針	4.子育て世代の定住促進				
分野別方針	(2)子育てコミュニティづくりの推進		実施計画事業	1)地域子育て推進事業(No.31)				
予算等事業名	地域子育て支援事業(コミュニティ保育、ファミリーサポートセンター)							
目的	身近な地域での子育てを進めるため、ファミサポの運営、地域のコミュニティ保育、一時預かりへの支援を行う。							
内容	一時預かり、ファミリー・サポート・センター、コミュニティ保育等地域における児童の健全な育成を図る。							
根拠法令・条例等	児童福祉法							
体制	<input type="checkbox"/>	町職員実施	<input checked="" type="checkbox"/>	一部委託あり	<input type="checkbox"/>	全部委託	<input type="checkbox"/>	その他

## 中間評価(10月1日現在)

1) 実施計画に示す事業内容どおりに進捗しているか									
<input type="checkbox"/>	① 計画どおりに進捗している		<input type="checkbox"/>	② 計画より遅れている		<input type="checkbox"/>	③ 未実施		
②、③に対する理由									

2) 現時点の状況から次年度以降の経費の削減等は検討できるか									
<input type="checkbox"/>	① 検討できる			<input type="checkbox"/>	② 削減は困難				
理由									

3) 今まで以上の事業の効率化は図れるか									
<input type="checkbox"/>	① 検討できる			<input type="checkbox"/>	② 効率化は困難				
理由									

中間評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため現状維持 B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、さらに改善の余地がある C: 事業の見直しが必要 D: 計画未実施のため継続の必要性がない(休止・廃止)					
	【説明】					

## 総合評価

実績	一時預かり利用者数: 百合が丘保育園 延べ130人、栄通り子育てサロン 延べ40人 ファミサポ会員: まかせて会員30人、おねがい会員79人、両方10人、活動件数956件 コミュニティ保育数: 3団体					
中間評価との相違点	—					
事業指標(数値指標)	ファミサポ会員数					
前期(27年度)目標値	150人			【目標値の根拠または数値で表わせない指標】		
	単位:	人				
実績値	平成25年度	平成26年度	平成27年度	—		
	119人					

事業費の推移と財源の内訳

(単位:千円)

		平成25年度		平成26年度		平成27年度	
		予算	決算	予算	決算	予算	決算
直接事業費		5,551	5,183				
財源内訳	一般財源	5,286	4,918				
	国庫支出金						
	県支出金	265	265				
	その他						

事業の項目別評価

妥当性	(1)公費を投入して実施することが妥当な事業か A:妥当 B:どちらかといえば妥当 C:妥当ではない	A
	【説明】 子育て世帯を支援していくために必要。	
妥当性	(2)町が主体となって実施する必要があるか A:町が行わなければならない B:町が行ったほうがよい C:委託等の必要がある	A
	【説明】 ファミリー・サポート・センター等可能な事業については、既に委託している。	
有効性		A
	【説明】 ファミサポは、年々会員数と活動件数が増加している。	
効率性	費用をかけずに成果をあげているか A:適切である B:改善の余地がある C:効率的ではない	A
	【説明】 一時預かりについては、利用料を徴収している。	
総合評価	A:妥当性、有効性、効率性は良好のため現状維持 B:妥当性・有効性・効率性は良いが、さらに改善の余地がある C:事業の見直しが必要 D:事業継続の必要性がない(休止・廃止)	A
	【説明】 子育て世帯に対する不安や負担感を解消するのに、必要な事業であるため継続。	
今後の方針 (課題・意見等を箇条書き)	平成27年度からスタートする子ども・子育て支援新制度では、地域子ども・子育て支援事業として、支援事業計画の中に位置づけられ、実施していく。	

◎評価者[担当主管課長]

<input checked="" type="checkbox"/> ① 現状維持	<input type="checkbox"/> ② 改善して町が実施	<input type="checkbox"/> ③ 改善して町以外が実施	<input type="checkbox"/> ④ 廃止
理由	多様な保護者のニーズに対応するため、身近な地域における子育て支援を進める必要がある。		
今後の方向性	新たにスタートした栄通り子育てサロンでの一時預かりをはじめ、利用者が必要な時に支援ができる体制の充実を図る。		